

公益財団法人横須賀芸術文化財団
平成 30 年度第 2 回理事会
議 事 録

- 1 開催日時** 平成 30 年 6 月 8 日（金）13 時から 14 時まで
- 2 開催場所** 横須賀市産業交流プラザ 特別会議室
- 3 出席者** 理事総数 6 名
出席理事 5 名（代表理事・理事長を含む。）
木村忠昭（理事長）、平松廣司（副理事長）、
平井毅（常務理事）、石渡修、鹿島勇
監事総数 2 名
出席監事 2 名
山寄進康、山田真悟

4 議 長 木村忠昭（代表理事・理事長）

5 決議及び承認事項

- 議案第 4 号 平成 29 年度事業報告及び決算（案）について
議案第 5 号 平成 30 年度補正予算について
議案第 6 号 定時評議員会の招集について

6 報告事項

- （1）平成 30 年 3 月 1 日以降の職務の執行状況について
（2）「第 7 回野島 稔・よこすかピアノコンクール」の開催結果について

7 議事の経過概要及びその結果

定刻に木村理事長が議長席に着き、天沼業務部長が開会を宣言。

定款第 33 条第 1 項の規定に基づき、木村理事長を議長に選出。

木村理事長が、定款第 34 条に規定する定足数を満たしていることを確認し、本理事会が有効に成立した旨を宣言。

併せて、定款第 37 条第 2 項の規定に基づき、木村理事長、平松副理事長、山寄監事及び山田監事を議事録署名人に指名した。

木村理事長が各議案を上程し、事務局に説明を指示し、議案の審議に入った。

（1）議案第 4 号 平成 29 年度事業報告及び決算（案）について

大倉事業課長（事業報告）及び水野管理課長（決算）が詳細を説明。

説明によると、平成 29 年度は、受託した指定管理期間 8 年間の 4 年目にあたる。更なる横須賀市の芸術文化の振興に寄与するため、各事業に取り組んだ。芸術普及事業については、市民に多彩な鑑賞機会を提供するため、68 公演を実施した。芸術育成事業については、「世界オペラ歌唱コンクール『新しい声 2017』オーディション in YOKOSUKA」の開催をはじめ、若手アーティスト学校派遣や、劇場専属合唱団を運営することで、多くの市民が芸術文化に触れ、文化活動に参加できる場を提供した。

施設管理事業については、営業活動を通じ利用促進を図りながら、修繕による使用環境の改善と適確なサービスを提供し、安全かつ快適な施設管理に努めた。

その他事業全般において、横須賀市のまちづくり政策の推進と、基本目標であ

る「国際海の手文化都市」の実現に貢献するための事業を実施した。

決算額については、劇場利用料収入、主催公演のチケット収入及び貸館公演のチケット販売手数料収入が当初見込みを上回ったこと、大口の寄附金収入、維持管理費の支出抑制と事業経費の見直し等を行ったことから黒字となった。また適正な公益目的事業比率を確保した。

次に、木村理事長の求めに応じ監査報告があり、理事の職務の執行について監査した結果、事業報告は法令及び定款に従い法人の状況を正しく示していること、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実認められないこと、内部管理体制の整備に関する理事会決議及びその体制下の理事の職務の執行が相当であること、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示していることが報告された。

本議案に関連し、次の質疑応答があった。

- ・石渡理事：大劇場の三面舞台の使用について、近年どのような傾向にあるか。
- ・天沼部長：本迫りは、オペラ、ミュージカルや、大掛かりなポピュラーコンサート等の舞台セット等、大規模な舞台装置の搬入搬出の際に使用している。袖迫りは、効率的な舞台転換のため、ジャズドリームス等の公演時に使用している。近年は少ない傾向だがいつでも使用できるよう準備している。
- ・石渡理事：平成 29 年度の決算は黒字ということで成果が出たと評価する。平成 30 年度以降は舞台機構の大規模改修が控えている等状況が変わっていくことが予想されるが、今後の見通しはどうか。
- ・水野課長：平成 29 年度は経営改善に取り組んできた成果が出たが、今後も樂觀視せず横須賀市はじめ各所と協力しながら各事業に取り組んでいく。

以上、木村理事長が諮った結果、出席者全員一致をもって原案のとおり承認された。

(2) 議案第 5 号 平成 30 年度補正予算について

水野管理課長が詳細を説明。

議案第 4 号により平成 29 年度決算（案）が承認されたため、決算確定前に承認された平成 30 年度予算の正味財産の期首残高を平成 29 年度決算（案）の期末残高と一致させる必要があり、補正収支予算を編成したい旨説明。

理事から質疑がなされなかったことから、木村理事長が諮った結果、出席理事全員異議なくこれを可決した。

(3) 議案第 6 号 定時評議員会の招集について

水野管理課長が詳細を説明。

- ・用件 平成 30 年度第 2 回評議員会
- ・日時 平成 30 年 6 月 28 日（木）14 時から
- ・場所 横須賀市産業交流プラザ 第 1 会議室
- ・目的である事項
 - (1) 議案審議
 - ・平成 29 年度事業報告及び決算について
 - (2) その他報告事項

理事から質疑がなされなかったことから、木村理事長が諮った結果、出席理事
全員異議なくこれを可決した。

(6) 報告事項

・平成 30 年 3 月 1 日以降の職務の執行状況について

天沼業務部長が報告。

芸術劇場指定管理業務に係る横須賀市宛て月次及び年次報告を行ったことなどが報告された。

・「第 7 回野島 稔よこすかピアノコンクール」の開催結果について

天沼業務部長が報告。

去る 4 月 29 日から 5 月 5 日に開催され、前回より参加者が増え、平均年齢が下がったこと、期間中は 1,300 名が来場したこと、引き続き本コンクールを通じて、若手演奏家の育成と文化の普及に寄与していく旨報告された。

以上をもって、議事全部の審議及び報告が終了したので、14 時、議長が閉会を宣し解散した。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、出席した代表理事及び監事が記名押印する。

平成 30 年 6 月 8 日

公益財団法人横須賀芸術文化財団

議 長

代表理事（理事長）

木 村 忠 昭

(代表者印)



代表理事（副理事長）

平 松 廣 司

印



監 事

山 田 真 悟

印



監 事

山 寄 進 康

印

